ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年６月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	56名	523,710名	1名	5,722名	516,967名
2日	59名	523,769名	0名	5,722名	517,040名
3日	28名	523,797名	0名	5,722名	517,075名
4日	36名	523,833名	0名	5,722名	517,113名
5日	68名	523,901名	0名	5,722名	517,148名
6日	36名	523,937名	0名	5,722名	517,193名
7日	32名	523,969名	0名	5,722名	517,246名
8日	64名	524,033名	0名	5,722名	517,298名
9日	52名	524,085名	0名	5,722名	517,330名
10日	67名	524,152名	1名	5,723名	517,339名
11日	64名	524,216名	0名	5,723名	517,368名
12日	75名	524,291名	1名	5,724名	517,421名
13日	30名	524,321名	0名	5,724名	517,479名
14日	49名	524,370名	0名	5,724名	517,508名
15日	118名	524,488名	0名	5,724名	517,544名
16日	100名	524,588名	0名	5,724名	517,608名
17日	130名	524,718名	0名	5,724名	517,644名
18日	105名	524,823名	0名	5,724名	517,676名
19日	88名	524,911名	0名	5,724名	517,742名
20日	67名	524,978名	0名	5,724名	517,795名
21日	127名	525,105名	1名	5,725名	517,860名
22日	71名	525,176名	0名	5,725名	517,922名
23日	164名	525,340名	0名	5,725名	517,998名
24日	199名	525,539名	1名	5,726名	518,029名
25日	177名	525,716名	2名	5,728名	518,077名
26日	66名	525,782名	1名	5,729名	518,191名
27日	45名	525,827名	1名	5,730名	518,287名
28日	102名	525,929名	0名	5,730名	518,410名
29日	93名	526,022名	2名	5,732名	518,513名
30日	192名	526,214名	1名	5,733名	518,601名

（２） その他

（ア） １１日、グアイド側暫定大統領府は、同日付プレスリリースを通じて、コヘデス州におけるグアイド氏に対するベネズエラ統一社会党(PSUV)党員及び武装集団による暴力的且つ卑怯な襲撃を断固として拒絶する旨表明した。１３日、米、英、加、また１５日、EU が、同襲撃に関する批難声明を発表している。

（イ） ２０日、マドゥーロ大統領は、新たに科学技術・教育・保健担当副大統領府を創設し、同担当副大統領としてヒメネス科学技術大臣を任命する旨発表した。

（ウ） ２８日、野党側統一プラットフォームは、2023 年に予備選挙を実施するとともに、右予備選挙の開催日については 2022 年中に決定する旨発表した。なお、グアイド氏は、同日、同予備選挙に対する支持を表明した。

２ 外交

（１） マドゥーロ大統領のユーラシア諸国への外遊

（ア） ７日、マドゥーロ大統領は、ユーラシア諸国への外遊を開始し、同日トルコに到着した。

（イ） ８日、マドゥーロ大統領は、エルドアン・トルコ大統領と、戦略的な同盟の深化、二国間関係のレビュー及び協力の進展の評価に関し、会談を実施した。また、マドゥーロ大統領及びエルドアン・トルコ大統領は、ベネズエラ・トルコ二国間ハイレベル会合を実施し、同会合において、二国間の深い友好関係及び戦略的協力関係を促進に向けより協働していくことを確認した。なお、同会合に、ベネズエラ側からは、ベラスケス運輸大臣、カストロ農業生産性・土地大臣、ヒメネス科学技術大臣、マルケス大統領府大臣、ファリア外相、パドロン観光大臣が参加した。

（ウ） ８日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラとトルコの両国間で観光、農業、金融財政に関する３件の合意文書への署名が行われた旨発表した。

（エ） ８日、マドゥーロ大統領は、アルジェリアに到着した。

（オ） ９日、マドゥーロ大統領は、テブン・アルジェリア大統領と、両国間の協力関係の拡大に向けたアジェンダに関し、会談を実施した。

（カ） ９日、ファリア外相は、ラマムラ・アルジェリア外相と、二国間の外交同盟の深化に関し、会合を実施した。

（キ） ９日、マドゥーロ大統領とテブン・アルジェリア大統領は、二国間ハイレベル混合委員会の再開を発表した。

（ク） １０日、マドゥーロ大統領は、イランに到着した。

（ケ） １０日、マドゥーロ大統領は、テレビインタビューにおいて、今次イラン訪問は、戦略的観点から二国間協力プロセスをさらに高いレベルに上げることを目標にしている旨再確認した。

（コ） １１日、マドゥーロ大統領は、ライースィ・イラン大統領と、二国間アジェンダの再活性化及び協力関係の強化に向けた共同戦略の開始に関し、会談を実施した。また、マドゥーロ大統領とライースィ・イラン大統領は、両国の代表団とともに、深い友好関係及び共同取組の継続に関するコミットメントの強化に関し、広範な会談を実施した。

（サ） １１日、マドゥーロ大統領は、近々カラカス・テヘラン間の直行便が開始されるだろうと述べた。

（シ） １１日、マドゥーロ大統領は、ハメネイ師イラン最高指導者と、兄弟愛及び協力関係の深化に関し、会談を実施した。

（ス） １１日、マドゥーロ大統領とライースィ・イラン大統領は、２隻目となるイラン製石油タンカーのベネズエ

ラへの引渡調印式を実施した。

（セ） １２日、マドゥーロ大統領は、イランのエネルギープラント関連会社 MAPNA の施設を訪問した。

（ソ） １３日、マドゥーロ大統領は、Owji イラン石油大臣と会談を実施した。

（タ） １３日、マドゥーロ大統領は、相互発展に向けた科学技術能力の向上のために Pardis テクノロジー地区を訪問した。

（チ） １３日、マドゥーロ大統領は、初めてクウェートを公式訪問した。

（ツ） １４日、マドゥーロ大統領は、クウェートにおいて、Al Ghais 次期石油輸出国機構(OPEC)事務局長と会談を実施した。

（テ） １４日、マドゥーロ大統領は、アフマド・ナーセル・アル・ムハンマド・アル・サバーハ・クウェート外相と、二国間の協力合意の進捗状況のレビューに関し、会談を実施した。

（ト） １４日、マドゥーロ大統領は、Maezouq Al-Ghanim クウェート国民議会議長と、会談を実施した。

（ナ） １４日、マドゥーロ大統領は、シェイク・ナッワーフ・アル・アハマド・アル・ジャービル・アル・サバーハ・クウェート首長と、両国間の兄弟愛の関係の強化に関し、会談を実施した。

（ニ） １４日、ベネズエラとクウェートは、二国間混合委員会を通じた石油及びガス分野における協力を強化する旨合意した。

（ヌ） １４日、マドゥーロ大統領は、カタールに到着した。

（ネ） １５日、マドゥーロ大統領は、シェイク・タミーム・ビン・ハマド・アール・サーニ・カタール首長と、両国間の兄弟愛の強化に関し、会談を実施した。

（ノ） １５日､マドゥーロ大統領は､ベネズエラにおける投資の促進に向けてカタールの企業家と会合を実施した。

（ハ） １６日、マドゥーロ大統領は、アゼルバイジャンに到着した。

（ヒ） １６日、マドゥーロ大統領は、イルハム・アリエフ・アゼルバイジャン大統領と、企業家の参加を得た経済協力の強化の必要性に関し、ビデオ電話方式で会談を実施した。

（フ） １６日、ベラスケス運輸大臣、ヒメネス科学技術大臣、マルケス大統領府大臣及びニャニェス通信情報大臣で構成されるベネズエラ代表団は、科学技術、農業、交通、エネルギー、観光及び文化分野における協力強化に関し、ビデオ電話方式にて会合を実施した。

（ヘ） １８日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラに到着し、今次外遊において訪問した６カ国の企業家がベネズエラを訪問するであろうと述べた。

（２） ファビアナ・ロサレス・グアイド氏夫人の米国訪問

（ア） ２１日、ロサレス夫人は、ニコルズ米国務次官補と、会談を行い、ベネズエラ国民が直面する複雑な人道上の危機、脆弱な国民に対する米国政府の支援につき協議するとともに、ベネズエラの自由と民主主義の回復に向けた米国政府のコミットメント、並びに、グアイド氏をはじめとするベネズエラ国民の闘いに対する理解に謝意を表明した。

（イ） ２２日、ロサレス夫人は、アルマグロ OAS 事務総長と、ベネズエラにおける民主主義の回復、政治犯の釈放及び自由な選挙の必要性に関し、会談を実施した。

（ウ） ２３日、ロサレス夫人は、ホワイト・ハウスを訪問し、バイデン米大統領夫妻と、人道危機の影響及びベネズエラ国民の取組に対する米国の支持に関し、会談を実施した。

（３）　その他

（ア）　１日、ベネズエラ政府は、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使に対し、ロシア政府による UNICEF のプロジェクトの進展への貢献に対する謝意を表明した。

（イ）　２日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、締約国会議（COP）枠組み会合に参加し、環境に関する高いレベルの配慮を求めた。

（ウ）　２日、ファリア外相は、Alzaben 駐ベネズエラ・パレスチナ大使と、会合を実施し、兄弟愛及び相互支援を再確認した。

（エ）　３日、ファリア外相は、ベネズエラ政府が、スリナム国民に対し、飲料水や医薬品等の人道支援物資 41 トンを送付した旨発表した。

（オ）　３日、体制側国会は、イラン・ベネズエラ友好議連の開設を発表した。

（カ）　８日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、ベネズエラ政府が、７日、国際司法裁判所に対し、ガイアナ政府の一方的な要求の容認に対する予備的反論を提出した旨公表した。

（キ）　１２日、ベネズエラ保健省は、ベネズエラで初めてサル痘の輸入感染症例が確認された旨発表した。なお、同感染者は、スペイン・マドリードからベネズエラへ入国した由。

（ク）　１５日、体制側国会は、ブラジル上院議員代表団の訪問を受け入れた。また、同日、体制側国会エネルギー・石油常設委員会は、同代表団と相互協力及び友好関係の強化に向けて会合を実施した。

（ケ）　１８日、デルシー・ロドリゲス副大統領とファリア外相が率いるベネズエラ代表団は、１５日より開催されている第２５回サンクトペテルブルク国際経済フォーラムにおいて、西側諸国によるロシアに対する強制的且つ一方的な制裁は、米国及び欧州の国民に対するブーメラン効果となるであろうと述べた。

（コ）　１８日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、第２５回サンクトペテルブルク国際経済フォーラムの枠組みに於いて、ラブロフ・ロシア外相と会合を行い、同会合において、両国の利益に向けた兄弟愛及び協力関係の強化に向けたコミットメントを再確認した。また、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ボリソフ・ロシア副首相との会談についてもツイッターに投稿した。

（サ）　１６日、ベネズエラ外務省は、声明を通じて、ウルグアイ航空当局によるベネズエラ航空機の領空通過許可取り消しに対する断固とした拒絶を表明した。

（シ）　１７日、米外国資産管理室(OFAC)は、シリア・フローレス大統領夫人の甥であるカルロス・エリク・マルピカ・フローレス氏を制裁リストから除外した。

（ス）　１９日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、コロンビアにおける大統領選挙の成功に祝意を表明した。また、同日、グアイド氏もツイッターを通じてコロンビア国民に対し、祝意を表明した。

（セ）　２１日、マドゥーロ大統領は、米国及び EU によるロシアに対する強制的且つ一方的な措置に対する拒絶を表明した。

（ソ）　２１日、マドゥーロ大統領は、ペトロ・コロンビア当選大統領と,両国間の国境の正常化等に関し、電話会談を実施した。

（タ）　２２日、与野党交渉の代表であるホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長とヘラルド・ブライデ統一プラットフォーム・コーディネーターがオスロ・フォーラム参加のためノルウェーを訪問した。

（チ）　２２日、マドゥーロ大統領は、ツイッターを通じて、アフガニスタン国民に対し、同国において発生した地震に関する連帯の意を表明した。

（ツ）　２４日、マドゥーロ大統領は、デ・ヒブス新駐ベネズエラ・メキシコ大使及びマルティネス新駐ベネズエラ・

ニカラグア大使より信任状を受領した。

（テ）　２７日、マドゥーロ大統領は、ホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長が、米国政府代表団と会談を行っている旨発表した。なお、報道によると、代表団は、ストーリー駐ベネズエラ米国大使（在コロンビア）及びカーステンズ米人質担当特使等の由。

（ト）　２７日、ベネズエラ政府は、国連開発計画(PNUD)と、７州における８個の情報センターの再建を通じたデジタルメディアに対するアクセスの改善に寄与するMOUに署名した。

（ナ）　２８日、マドゥーロ大統領は、Li 駐ベネズエラ中国大使と、両国民の相互利益に繋がる戦略的二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（ニ）　２８日、アレアサ・コミューン社会運動大臣は、カストロ・ホンジュラス大統領からセラヤ・ホンジュラス元大統領に対するクーデター後のホンジュラス国民へのベネズエラ政府の支援に対する感謝状を手交された。

（ヌ）　３０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Wan Yusri マレーシア外務省中南米担当外務次官等と、二国間及び多国間の協力関係のレビューに関し、会合を実施した。

（了）